

## ※令和 5 年度母子保健事業報告（暫定データ）より抜粋

## 1 3 新生児聴覚検査（P 1 1 9 : 表 3 1、P 1 2 0 : 表 3 2、P 1 2 1 : 表 3 3 参照）

聴覚障害は早期に発見され適切な支援が行われた場合には、聴覚障害による音声言語発達等への影響が最小限に抑えられることから、その早期発見・早期療育を図るために、全ての新生児を対象として新生児聴覚検査を実施することが必要である。新生児聴覚検査の実施状況については、表 4 7 のとおりである。

令和 4 年度の新生児聴覚検査の初回検査の実施率（除く不明）は 9 9.4 % で、前年度の 9 9.3 % より 0.1 ポイント上回った。リファー率は 0.9 % で、前年度と同率だった。

表 4 7 新生児聴覚検査実施状況及び結果（初回検査）

（単位 件）

年度	出生数 (年)	検査実施状況							検査結果		
		確認 人数	Aの確認状況				実施率 (%)	実施率 (除く 不明) (%)	パス	リファ ー	リファ ー率
			検査 人数	検査 未受診 人数	不明						
					養育 医療	その 他					
A (=B+F+G +H)	B	F	G	H	B/A	B/ (A-G-H)					
令和元年度	101,818	96,072	91,984	2,889	43	1,156	95.7	97.0	90,520	909	1.0
2	99,661	92,282	89,507	1,128	22	1,625	97.0	98.8	88,401	768	0.9
3	95,404	91,756	90,235	597	10	914	98.3	99.3	89,240	823	0.9
4	91,097	91,990	90,398	507	5	1,080	98.3	99.4	89,281	858	0.9
区部	66,137	67,471	66,093	379	0	999	98.0	99.4	65,186	651	1.0
市郡部	24,836	24,389	24,179	125	4	81	99.1	99.5	23,972	207	0.9
島部	124	130	126	3	1	-	96.9	97.7	123	-	-

※出生数は厚生労働省人口動態統計による。

実施状況及び結果（確認検査）

年度	検査実施状況			検査結果		
	対象者数	検査人数	実施率 (%)	パス	リファー	リファー率
令和元年度	909	780	85.8	426	342	43.8
2	768	680	88.5	384	293	43.1
3	823	723	87.8	412	309	42.7
4	858	709	82.6	394	321	44.4
区部	651	525	80.6	311	214	40.8
市郡部	207	184	88.9	83	101	54.9
島部	-	-	-	-	-	-

実施状況及び結果（精密検査）

年度	検査実施状況			検査結果			
	対象者数	受診者数	実施率 (%)	一側性難聴	両側難聴	正常	評価不能
令和元年度	342	263	76.9	69	54	104	29
2	293	237	80.9	60	42	97	35
3	309	262	84.8	85	51	89	37
4	321	283	88.2	75	56	116	36
区部	214	188	87.9	45	36	82	25
市郡部	107	95	88.8	30	20	34	11
島部	-	-	-	-	-	-	-